

議案第20号 小松島市葬斎場条例の全部を改正する条例について

《全部改正の趣旨》

新たな葬斎場に関し、管理方法や使用料等、必要な事項を定めるため、既存の条例を全部改正するもの。

小松島市葬斎場条例(昭和63年小松島市条例第19号)新旧対照表

現行	改正後（案）	備考
<p>○小松島市葬斎場条例</p> <p>小松島市葬斎場使用条例(昭和23年小松島市条例第101号)の全部を改正する。</p> <p>（設置）</p> <p>第1条 本市は、火葬を行う施設として、葬斎場を置く。</p> <p>2 葬斎場の名称及び位置は、次のとおりとする。</p> <p>（1）名称 小松島市葬斎場</p> <p>（2）位置 小松島市田野町字赤石北<u>90番地</u>の2</p> <p>（開場時間）</p> <p>第2条 小松島市葬斎場(以下「葬斎場」という。)の開場時間は、<u>午前9時から午後5時まで</u>とする。ただし、市長が特に認めたときは、開場時間を<u>延長</u>することができる。</p> <p>（休日）</p> <p>第3条 葬斎場の休日は、1月1日及び市長が指定する日とする。</p>	<p>○小松島市葬斎場の設置及び管理に関する条例</p> <p>小松島市葬斎場条例(昭和63年小松島市条例第19号)の全部を改正する。</p> <p>（設置）</p> <p>第1条 本市は、火葬を行う施設として、葬斎場を置く。</p> <p>2 葬斎場の名称及び位置は、次のとおりとする。</p> <p>（1）名称 小松島市葬斎場</p> <p>（2）位置 小松島市田野町字赤石北<u>64番1</u></p> <p>（開場時間）</p> <p>第2条 小松島市葬斎場(以下「葬斎場」という。)の開場時間は、<u>午前8時30分から午後5時15分まで</u>とする。ただし、市長が特に認めたときは、開場時間を<u>変更</u>することができる。</p> <p>（休日）</p> <p>第3条 葬斎場の休日は、1月1日及び市長が指定する日とする。</p>	<p>改正</p> <p>改正</p> <p>改正</p>

	<p><u>(指定管理者による管理)</u></p> <p><u>第4条 市長は、葬斎場の設置の目的を効果的に達成するため必要</u>  <u>があると認めるときは、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244</u>  <u>条の2第3項の規定による指定管理者(以下「指定管理者」という。)</u>  <u>に、葬斎場の管理を行わせることができる。</u></p> <p><u>2 前項の規定により指定管理者に葬斎場の管理を行わせる場合の</u>  <u>当該指定管理者が行う業務(以下「指定管理業務」という。)は、</u>  <u>次に掲げるとおりとする。</u></p> <p><u>(1) 葬斎場の使用許可に関すること。</u></p> <p><u>(2) 葬斎場の火葬に関すること。</u></p> <p><u>(3) 葬斎場の施設及び設備の維持管理に関すること。</u></p> <p><u>(4) その他市長が定める業務</u></p> <p><u>3 指定管理者が指定管理業務を行う場合における第2条の規定中</u>  <u>「市長が特に認めたときは」とあるのは「指定管理者が特に認め</u>  <u>たときは、市長の承認を受け」と、第3条の規定中「市長が」と</u>  <u>あるのは「指定管理者が市長の承認を受け」と、第7条及び第8</u>  <u>条の規定については、これらの規定中「市長」とあるのは「指定</u>  <u>管理者」と読み替えるものとする。</u></p> <p><u>(指定管理者の指定の手続等)</u></p> <p><u>第5条 指定管理者の指定に関する手続等については、小松島市公</u>  <u>の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例(平成17年小</u>  <u>松島市条例第21号)の定めるところによる。</u></p>	追加
		追加

	(管理の基準)		追加
	第6条 指定管理者は、次に掲げる基準により、指定管理業務を行 わなければならない。		
	(1) 関係する法令、条例及び規則等を遵守し、適正に葬斎場の 運営を行うこと。		
	(2) 施設等の維持管理を適正に行うこと。		
	(3) 指定管理業務を通じて取得した個人に関する情報を適正に 取り扱うこと。		
(使用の許可)	(使用の許可)		
第4条 葬斎場を使用しようとする者は、あらかじめ規則で定める ところにより、市長の許可を受けなければならない。	第7条 葬斎場を使用しようとする者は、あらかじめ市長の許可を 受けなければならない。		削除
	2 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、葬斎場の使用 を許可しない。		追加 (旧5条)
	(1) 公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがあると認められ るとき。		
	(2) 葬斎場の施設又は設備を損傷するおそれがあると認められ るとき。		
	(3) その他公益上又は管理上支障があると認められるとき。		
(許可の制限)	(使用許可の取消し等)		
第5条 市長は、次の各号の一に該当すると認めたときは、葬斎場 の使用を許可しないことができる。	第8条 市長は、前条の許可を受けた者(以下「使用者」という。) が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、葬斎場の使		改正 (旧10条)

<p>(1) <u>公の秩序又は善良な風紀をみだすおそれがあるとき。</u></p> <p>(2) <u>葬斎場の施設又は設備を損傷するおそれがあるとき。</u></p> <p>(3) <u>その他公益上又は管理上支障があるとき。</u></p> <p>(使用料)</p> <p><u>第6条 葬斎場の使用料は、別表のとおりとする。</u></p> <p><u>2 葬斎場の使用の許可を受けた者(以下「使用者」という。)は、使用料を前納しなければならない。</u></p> <p>(使用料の減免)</p> <p><u>第7条 市長が特に必要があると認めるときは、前条の使用料を減免することができる。</u></p> <p>(使用料の還付)</p> <p><u>第8条 既に納入した使用料は、還付しない。ただし、やむを得ない理由により葬斎場の使用を中止し、市長が還付することを相当と認めた場合は、その全部又は一部を還付することができる。</u></p>	<p><u>用を制限し、使用を停止し、または前条第1項の許可を取り消し、若しくは退場を命ずることができる。</u></p> <p>(1) <u>この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。</u></p> <p>(2) <u>偽りその他不正な手段により前条第1項の許可を受けたことが明らかになったとき。</u></p> <p>(3) <u>前条第2項各号に規定する理由が発生したとき。</u></p> <p><u>2 前項の規定により使用者に損害が生ずることがあっても、市長はその賠償の責めを負わない。</u></p> <p>(使用料)</p> <p><u>第9条 使用者は、別表に定める使用料を納付しなければならない。</u></p> <p>(使用料の減免)</p> <p><u>第10条 市長が特に必要があると認めるときは、前条の使用料を減免することができる。</u></p> <p>(使用料の還付)</p> <p><u>第11条 既に納入した使用料は、還付しない。ただし、やむを得ない理由により葬斎場の使用を中止し、市長が還付することを相当と認めた場合は、その全部又は一部を還付することができる。</u></p>	<p></p> <p>追加</p> <p>改正</p> <p>削除</p>
---	---	---------------------------------------

<p>(使用者の守るべき事項)</p> <p><u>第9条</u> 使用者は、葬斎場の使用に当たって次に掲げる事項を守らなければならない。</p> <p>(1) 他人の迷惑になるような行為をしないこと。</p> <p>(2) 施設又は設備を傷つけないこと。</p> <p>(3) 所定の場所以外に許可なく立ち入らないこと。</p> <p>(4) その他係員の指示に従うこと。</p> <p>(使用許可の取消し等)</p> <p><u>第10条</u> 市長は、使用者がこの条例又はこれに基づく規則に違反したときは、使用許可を取り消し、又はその使用を制限し、若しくは退場を命ずることができる。</p> <p>(損害賠償の義務)</p> <p><u>第11条</u> 使用者が葬斎場の施設、設備等を損傷し、又は滅失したときは、その損害について市長が定める額を賠償しなければならない。</p> <p>(委任)</p> <p><u>第12条</u> この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。</p>	<p>(使用者の守るべき事項)</p> <p><u>第12条</u> 使用者は、葬斎場の使用に当たって次に掲げる事項を守らなければならない。</p> <p>(1) 他人の迷惑になるような行為をしないこと。</p> <p>(2) 施設又は設備を傷つけないこと。</p> <p>(3) 所定の場所以外に許可なく立ち入らないこと。</p> <p>(4) その他係員の指示に従うこと。</p> <p>(損害賠償の義務)</p> <p><u>第13条</u> 使用者が葬斎場の施設、設備等を損傷し、又は滅失したときは、その損害について市長が定める額を賠償しなければならない。</p> <p>(委任)</p> <p><u>第14条</u> この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。</p>	<p>削除</p>
---	--	-----------

## 別表(第6条関係)

## 葬斎場使用料(火葬料)

区分	単位	使用料
本市住民が使用する場合	大人 1体につき	12,000円
	小人 1体につき(死産児を含む。)	6,000円
本市住民以外の者が使用する場合	大人 1体につき	36,000円
	小人 1体につき(死産児を含む。)	18,000円
手術肢体等を焼却する場合	手術肢体その他これに類するもの1体につき	市内 4,200円 市外 8,400円
	産汚物1体につき	市内 2,100円 市外 4,200円

備考 「小人」とは、12歳未満の者をいう。

## 別表(第9条関係)

## 葬斎場使用料(火葬料)

区分	単位	使用料		
		小松島市の住民の場合	勝浦町、上勝町又は佐那河内村の住民の場合	その他の市町村の住民の場合
12歳以上であった者の死体	1体について	15,000円	40,000円	80,000円
12歳未満であった者の死体	1体について	7,500円	20,000円	40,000円
死胎	1胎について	7,500円	20,000円	40,000円
手術肢体等	1件について	5,000円	10,000円	20,000円

備考

- 「小松島市の住民」とは、死亡者が死亡時において小松島市の住民基本台帳に記録されている場合（死胎については父又は母が小松島市の住民基本台帳に記録されている場合、手術肢体等については申請者が小松島市の住民基本台帳に記録されている場合）をいう。
- 「勝浦町、上勝町又は佐那河内村の住民」とは、死亡者が

改正

改正

	<p>死亡時において勝浦町，上勝町又は佐那河内村の住民基本台帳に記録されている場合（死胎については父又は母が勝浦町，上勝町又は佐那河内村の住民基本台帳に記録されている場合，手術肢体等については申請者が勝浦町，上勝町又は佐那河内村の住民基本台帳に記録されている場合）をいう。</p>	
--	--	--